

第8号議案

令和9年度びわこ近畿大会 クラブ員代表者会議 テーマ

〈第1分科会〉 外への働きかけに関する事（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）

〈第2分科会〉 内への働きかけに関する事（クラブ員一人一人へ、農業クラブの活性化等）

〈第3分科会〉 農業の未来や農業をとりまく情勢と農業クラブ活動との関わりに関する事

分科会	テーマ
第1分科会	
第2分科会	
第3分科会	

<第1分科会>：外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域の連携、海外交流等）

北海道連盟

- ・地域との協働及び戦略的な広報活動が農業の魅力向上と次世代の担い手育成に果たす役割はなにか。

東北海道連盟

- ・地域連携など課外学習の範囲を広げ、頻度を増やしていくためには、どのように関係を構築していくべきか
- ・自分たちの農業高校や地域の取組を全国に広めるためにどのような方法で魅力を発信していくべきか
- ・地域を越えて農業の良さを発信していく活動にはどのようなものがあるか

南北海道連盟

- ・地域と連携した農業クラブ活動を地域外へ広めていくにはどのような方法があるか。

岩手県連盟

- ・「小・中学生や地域と連携し、農業への関心を高めるためには、どのような資源を活用し、どのような取り組みを行うべきか。」

秋田県連盟

- ・農業について幼いときから継続して触れ合っていくにはどうしたらよいか。
- ・地域や他校との交流を通じて、農業の魅力を広めるにはどうしたらよいか。
- ・地域防災において、農業クラブとしてできる関わりとは（農地・施設の活用など）。
- ・農業クラブ活動の活性化に向け、学校外の団体による外部支援（助成金、企業協賛など）活用の実践例をまとめたい。
- ・SNSに頼ることなく、校外で連携・交流を深めていくためにはどうすればよいか。
- ・ECサイト、オンライン販売を実施する際の方法や課題について。

山形県連盟

・ソサエティ 5.0 に近づく中で、農業高校・農業クラブ活動に関心を持ってもらうためには、どのような媒体、工夫をして情報発信を行えばよいか。

福島県連盟

- ・情報格差を乗り越え、農業クラブの『魅力』を全世代に響かせる「最適な発信戦略」をどう確立すべきか。

茨城県連盟

- ・地域との連携を通して、地域との交流を深め、地域の魅力を発信して活性化を目指すならどのようなことを企画、実施するか。
- ・地産地消を実現するために農業クラブとしてどのような取り組みができるか。
- ・小中学生に農業の魅力を伝えるためには、どのような活動の場をつくるべきか。
- ・海外交流の活性化を図るためには、どのように農業クラブで活動をするべきか。
- ・地域の農業のIT化を進めるために、農業高校はどのような役割を担えるか。
- ・地産地消の食育活動を行うためには、どのような発信すべきか。
- ・地域の農家とかわりを持つためには、どのような方法があるか。
- ・海外の人に日本の農業を広めるために、どのような発信すべきか。

栃木県連盟

- ・農業クラブ活動が、後輩や地域の方々に広く知ってもらうにはどのような取り組みを実施していけばよいか。
- ・他の実業高校（商業や工業、水産、家庭、福祉など）と農業クラブがともに活動していくためにはどのような活動が必要か。

群馬県連盟

- 学校の授業等で海外とどのような関わりを持つか。
- 地域・学校の連携をするうえで、どのようなイベント、啓発活動を行っていくか。
- 自校のPRをしっかりと行い、より多くの人々や地域の人に活動を知ってもらうためにはどうしたらよいか。

埼玉県連盟

- 海外のクラブ員と、どんな活動でつながれるだろうか
- 農業もつ人の心を癒す機能について

千葉県連盟

- 現代の農業は若い世代が減少しているが、それを踏まえて各農業クラブの特色を活かした活動を行うためにはどうすればよいか。
- 地域の人にもっと農業高校の存在を知ってもらうにはどうすればよいか。
- SNS や AI を活用した農業クラブ活動の効果的な情報発信と地域・社会への認知度向上の取り組みについて
- 地域社会に信頼される農業クラブとして、特産物の継承と地域づくりに貢献できる具体的な活動はどのようなものがあるか

東京都連盟

- 農業クラブが地域や他校と協力しながら、SNS を安全・安定的に活用して地域貢献や認知拡大につなげるためには、どのような運営方針や情報発信の工夫が必要か。
- 農業に強い関心を持つ人だけでなく、一般の人々にも農業クラブの魅力や価値を伝えるためには、どのような発信内容・企画が有効か。
- 地域住民・地元企業・自治体などと協働し、農業クラブの活動が地域の課題解決にどう貢献できるのかを明確に示すには、どんな取り組みが必要か。

神奈川県連盟

- 学校主体で地域や海外の人が農業に魅力を感じてもらうにはどのような方法があるか

山梨県連盟

- 農業クラブと地域のつながりを深めるためには
- 農業の現状や課題をより多くの人に知ってもらうためには
- 国をこえた農業のつながりをつくるためには
- 地域の伝統を生かした農業活動

静岡県連盟

- SNS に頼ることなく校外で連携・交流を深めながら、農業の新 3K（感動・かっこいい・稼げる）を地域に広めるために農業クラブができることはなにか。

新潟県連盟

- 現在行っている地域・外部連携活動で感じている成果と限界点は何か。
- 農業クラブ員が農業クラブ活動を理解し、地域に活動を広めていくためにはどのような方法があるか。
- 農業高校と地域との結びつきを今後も継続するためにどのような取り組みが必要となるか。
- 単位クラブで現在取り組んでいる地域連携活動にはどのようなものがあるか、他校の事例を自校で活かすことができるものは何か。
- 海外の同世代の若者とどのような交流をすることができるか。

長野県連盟

- 高齢化が進む農業について、後継者不足を解消するために、農業クラブでは何をすべきか。

- 農業の後継者不足を解消するために、どのような地域交流をするべきか。
- 地域や小学生と交流する場合、どのような工夫が必要か。
- 農業高校の学びを地域の財産に広げるには、どのような活動があるか。
- 農業クラブの力を社会貢献につなげるには、どのような方法があるか。

富山県連盟

- 中学生に農業高校について興味を持ってもらうにはどのような方法があるか。
- 地域の人に地域の農業の現状と課題を知ってもらうにはどのような方法があるか。
- 農業クラブ員と地域の人々との交流をもっと増やすにはどうしたらよいか。
- 農業をPRするために私たち農業高校生にできることは何か。
- ワークショップを開いて農業クラブのことを知ってもらうとしたらどんなことができるか。
- 小・中学校へクラブ員が行き授業をする活動で農業クラブを知ってもらうことはできないか。
- YouTube やインスタグラムのアカウントを開設した際にどのようなことを発信したら効果的か。
- 県連盟を盛り上げ農業クラブを知ってもらうため、県や地区ごとで共有のSNS を運営することはできないか。
- 外部に活動を紹介するためのイベントやメディア出演を果たすためにどんなことをしたら良いか。
- 農業科の取り組みを地域にPR するにあたり、高齢者・SNS 未利用者に対しては、どのような発信方法が考えられるか。
- 外国人居住者・来訪者の増加は農業（農業高校）にどのような影響があるか。
- 農業高校生が地域と連携することで地域に対してどのような変化や影響を与えることができるのか。
- SNS を利用しない世代に対して農業科の魅力をPR するために効果的な発信方法にはどのようなものがあるか。
- 農業高校生が地域と連携することで地域に対してどのような変化や影響を与えることができるのか。
- 地域や校外の第三者にとって農業高校生はどのような存在であるべきか。
- どのようにすれば農業の魅力を消費者や地域住民に伝えることができるか。
- 地域の人々の誰もが認知でき信頼される農業クラブの活動とは何か。
- 農業高校の魅力を発信する方法としてSNS 以外での有効な方法は何か。

福井県連盟

- 家族を含めた地域の人に農業クラブ活動を知ってもらうためにはどうしたらいいか。

愛知県連盟

- 農業クラブ活動を地域や企業に発信するための手段として、協力者、支援者を増やすためにはHP や SNS をどのように有効活用するか。
- 地域連携による（収益化）プロジェクトをどのように持続可能な農業クラブ活動として定着させるか。
- 地域のイベントや産学連携など、地域との協力関係を広げていくためにはどのようにすればよいか。
- 他都道府県の高校（農業高校）や海外の学校との連携を効果的に行うためにはどのようにすればよいか。
- 学校の農産物を「地域で選ばれる商品」にするためにはどのようにすればよいか。
- 農業クラブ活動が農業高校の魅力を発信し、地域や小中学校等とのつながりを強化するためにはどうすればよいか。

岐阜県連盟

- 地域に農業クラブ活動を広めていくには、どのような取り組みを推進していくか。

滋賀県連盟

- 地域農業を支える次世代の担い手について
- 地域農業の次世代リーダーの育成プログラムとしてどのようなことができるだろうか。

大阪府連盟

- 地域と連携した農業クラブ活動にはどのような企画が考えられるか。また、その活動を活性化させるには

どのようにすれば良いか。

兵庫県連盟

- 海外交流をイベントで終わらせないために必要なことはなにか
- 校内の成果物を校外へどのように発信していくか
- 海外の農業高校との交流はどんなことができるか
- 海外の農業高校生と連携したプロジェクト型学習は実現可能か
- 連盟（日連、ブロック連、県連）活動を通じた学校間交流の活性化
- 農業クラブ活動の魅力を広げる新たな発信方法
- 県内外を含めた学校間連携はどのようなことができるか

鳥取県連盟

- 学校として地域連携にどのように取り組むか。
- 将来の農業はどのような産業との結びつきが必要となるか。

広島県連盟

- 農業クラブの知名度向上のためどのような取組を行えばよいか。
- 学校での生産物を活用した地域への連携を行うためにはどうすればよいか。
- 学校農業クラブの各種大会や取組をより多くの人に知ってもらうためにはどうすればよいか。
- 地域との連携を今以上に深くするためには、どのような取組を行うか。
- 農業クラブの活動（競技会、発表会など）を多くの人に知ってもらうためにはどのような取組を行うべきか。
- 農業高校の魅力発信をしていくために、私たちにできることは何か。
- 各都道府県で行っている魅力発信を県外に知ってもらうためにはどのような取組を行えばよいか。

山口県連盟

• 農業高校の魅力を地域の方々に伝えていくために、「産・官・学」とどのような連携をしていけばよいのか。

徳島県連盟

- 地域の農業高校として学校にどのような役割が求められているか。また、それに答えるためにどのような活動をしていけるか。
- 地域との協働を促す仕組みづくりを構築するために農業クラブ員がどのような働きかけをするか。
- 地域の方々に応援される学校を作るには、どのような取組が必要か。
- SNSの効率的な活用について考える。また、SNSだけに頼らず、デジタルとリアルを組み合わせた広報の可能性を考える
- 海外の方との交流について考える。

福岡県連盟

• 地域の人と関われる農業クラブ活動が少ないため、どのような活動をすれば地域の人と関われることができるか。

佐賀県連盟

• イベントやボランティア活動をするなかで、年代を問わず多くの人と交流し連携をとるためには、どのような方法があるか。

長崎県連盟

- 農業クラブの活動を、地域に繋げるにはどのような工夫が必要か
- 農業高校の活動を地域の活性化に繋げるにはどのような取り組みがあるか。
- 農業のイメージ向上を図るにはどのような取り組みが必要か。

- 他の校種と連携し、農業の学びを広げるにはどのようなことが課題になるか。
- 海外の農業関係学校と交流や連携を行うにはどのような方法があるか。

熊本県連盟

- 地域と連携した商品開発や地域住民との交流授業を増加させ、学校農業クラブがより地域に連携して地域と学校を盛り上げていくためには学校農業クラブ役員には何が出来るか。
- 対象者をより限定した魅力発信をそれぞれ行う。
 - ①中学生対象（生徒募集のための魅力発信）
 - ②中学生の保護者、中学校教員（保護者や職員を対象とした生徒募集のための魅力発信）
 - ③地域の方々やOB など（より外部に知っていただくための魅力発信）
- 農業クラブの存在や活動について、地域の方々や企業へ認知を高めていくために、どのような取り組みをすれば良いか。
- 農業クラブと地域で取り組める農業関連のボランティア活動が少なく、地域との連携が不十分だと感じるため、何か活動を増やせないか。

宮崎県連盟

- 対外的にどんな活動・行事を行えば農業（農業高校）への興味関心を高められるのか。
（校外における農業関係の活動への認知度が低いと考えるから）
- 農業クラブの認知度向上のためSNSを活用し認知度向上を図りたいが、個人情報などの懸念があるなかどのような取り組みを行い、認知度向上を図るか。
- FFA や FFK 等の海外団体との連携を図るにはどのような取り組みがあるか。

鹿児島県連盟

- 他校との協力の少なさ
- 地域と連携したイベント等への参加不足
- 校内の学びを地域社会に発信するにはどのような方法があるか。
- 農業体験から考える地域に根ざした学びとはどのようなものがあるか。
- 学校、地域、企業で考える新しい農業モデルとしてどのような活動を行えばよいか。
- 農業クラブ員が地域産業を知り、関わり続けるための仕組みにどのようなものがあるか。
- 交流会として販売会を続けるにはどうすればよいか。
- 地域の人と一緒に活動できるイベントにはどのようなものがあるか。
- 活動をライブ中継すると良いのではないか。

沖縄県連盟

- グローバル時代といわれているなかで、農業クラブの活動内容を県内外や海外に発信するにはどうすればよいか。
- 私たち農業クラブ役員が海外と交流を深めるためにはどのような取り組みがあるか。
- 農業高校と地域企業・団体が連携して、地域農産物のブランド力を高めるにはどうすればよいか。

<第2分科会>：内への働きかけに関すること（クラブ員一人一人へ、農業クラブの活性化等）

北海道連盟

- ・行事・交流活動を通じて、一人ひとりの「農」への興味・関心を主体的・継続的に高めるには、どう展開すべきか。

東北北海道連盟

- ・一人ひとりのクラブ員の活動意欲向上のために、学校全体で取り組める勉強会や農ク活動の活性化のための他校との交流機会を増やすにはどのような方法があるか
- ・クラブ員数の減少や意欲の低下を解消し、活動を活性化するためにはどのようなことができるか
- ・農ク三大目標に沿ったクラブ員の具体的な資質・能力を高めるためにクラブ員にどのような働きかけができるか

南北北海道連盟

- ・クラブ員が農業クラブ活動に興味関心を持ち、主体的に取り組むためにはどのようにしていくべきか。

岩手県連盟

- ・「農ク活動の活性化を図るための体験型活動は何か。」
- ・「農業高校の自然的特色を生かし、クラブ員同士が交流でき、さらに各種発表や競技への関心を高める活動とは何か。」
- ・「農業クラブ役員一人ひとりが日本の農業を担う若者として興味を持って楽しみながら、農業の知識・技術を向上させるためにはどのような活動が必要か。」

秋田県連盟

- ・クラブ員が活動に意欲的に参加するにはどうしたらよいか。
- ・一人一人がクラブ活動に意欲的に、率先して取り組める環境をつくるにはどうしたらよいか。
- ・農業クラブについて多くの人に知ってもらうにはどうしたらよいか。
- ・クラブ員が自校に誇りを持ち、自信をもって農業クラブ活動を行うにはどのような働きかけが必要か。
- ・クラブ員の意見を収集、集約するためにはどのような方法があるか。
- ・農業クラブ活動（行事や競技の運営など）について、上級生から下級生へ確実に技術継承を行うにはどのようにすればよいか。
- ・新入生に向けた農業クラブに関する説明やオリエンテーションを工夫するには。

山形県連盟

- ・クラブ員一人一人が自覚をもって、地域農業や関連産業の課題解決に向けて主体的に取り組んでいくためには、どのような活動を行っていけばよいか。

福島県連盟

- ・意欲的な参加を促し、活動を継続させるために、『クラブ員としての自覚』を深める「効果的な仕組み」をどうつくるか。

茨城県連盟

- ・どのような農業クラブの行事であればクラブ員の意識が高まり、活性化するか。
- ・農業クラブ役員以外に農業クラブの活動をより知ってもらうためにはどのようなことが必要か。
- ・農業クラブ活動を面白くするために、どのようなイベントを開催すべきか
- ・クラブ役員だけでなく農業クラブ員全員が農業クラブ活動に対して興味を持つようにするためにはどのようにしたらよいか
- ・クラブ員同士での意識を高めるために、どのような活動の場をつくるべきか
- ・クラブ員一人ひとりに自覚を持たせるには、どのような方法があるか。
- ・クラブ員一人ひとりが主体的に取り組むためには、どのような活動があるか。

- ・新入生が農業クラブへの関心を高めるには、どのような体験活動を企画すればよいか。

栃木県連盟

- ・クラブ員が農業クラブ活動に魅力を感じて参加してもらうには、どのような取り組みが必要か。

群馬県連盟

- ・学校として横のつながりを増していくことと共に、農クの理解や意欲を向上するためにはどうしたらよいか。
- ・各農業高校どうしの活動をお互いに理解しあい、自分たちの授業や活動に活かしていくためにはどうしたらよいか。
- ・指導性がある生徒や希望がある生徒を伸ばすにはどうしたらよいか。また、社会でどう活かせるか。

埼玉県連盟

- ・毎年新入生の勧誘が大変である。そのため特に新入生へのアピールが必要ではないか
- ・クラブ員数の減少に対する対策について
- ・リーダーシップを担う生徒の役割の分担について

千葉県連盟

- ・学校全体に農業クラブの存在を広めるためにはどうすればよいか。
- ・地域交流事業や高大連携事業から得た経験を、事業に参加していない生徒へ還元し、校内活動を活性化させる方法
- ・クラブ員が農業の楽しさや知識を深め、各種大会・競技会への積極的な参加意欲を高めるための活動はどのようなものがあるか

東京都連盟

- ・クラブ員の興味・関心を引き出し、意欲と主体性を持った農業クラブ活動を活性化させるためにはどのようなことができるか。
- ・多くのクラブ員に興味を持ってもらい、意欲的に活動へ参加してもらうためにはどうすればよいか。

神奈川県連盟

- ・農業クラブの活動と学校行事を結びつけるにはどうしたらよいか

山梨県連盟

- ・クラブ員の意識を高めるためにはどのようなことができるか
- ・プロジェクト活動を地域に還元するためには
- ・農業クラブの活動内容の学校ごとの差をなくすためには

静岡県連盟

- ・農業クラブの活動内容や目的をクラブ員に理解してもらい、主体性を持って取り組みながら、持続可能な農業を実現し未来を切り拓くために今行うべき活動とはなにか。

新潟県連盟

- ・「参加意欲が低いクラブ員」を巻き込むための具体的な方策
- ・他部活動や他校の農業クラブにはない、本校独自の活動の強み（例：特定作物の開発、地域特産品との連携など）をどのように打ち出すか。
- ・単位クラブの現在地から、さらに活動を活性化させるためには、何をどのように取り組んでいけばよいか。
- ・日ごろから各単位クラブの農業クラブ活動で取り組める活性化策としてどのようなことが考えられるか。
- ・クラブ員一人一人が取り組める活性化に向けた活動として、どのようなことが考えられるか。
- ・農業クラブ活動や各種農業クラブの行事の魅力は何か。

長野県連盟

- ・地域や個人日頃の疑問を農業クラブ活動の中でどのように探し出し、とりあげ解決するか。
- ・農業クラブの活動が人と地域を動かす原動力となることを自覚し、活動につなげるためには。

富山県連盟

- ・多くのクラブ員が農業に関する研修会に積極的に参加するにはどのようにしたらよいか
- ・クラブ員が農業の知識をもっと深めるためにはどのような方法があるのか
- ・他校の農業クラブの活動を知るためにどのような方法があるのか
- ・一人一人がクラブ員としての自覚を持つためにはどうしたらよいか
- ・クラブ員一人一人が農業について意欲的に学習できる場を作るためにどんな活動ができるか。
(外部へ授業をやりに行くためであれば一人一人が意欲的に学習できるのではないかなど)
- ・クラブ員が交流できる場にはどのようなものがあるか。どのような交流を求めているか。
- ・クラブ員が興味を持てる楽しいことは何か。
- ・農業クラブ員の取り組みを生徒同士で”見える化”するための取り組みにはどのようなものがあるか。
- ・クラブ員同士の結束を高めるためにはどのような働きかけが必要か。
- ・農業クラブ活動の活性化を促すために、クラブ員一人一人が心掛けるべきことはなにか。
- ・農業クラブ員同士の意見交換が活発に行われることによってどのような効果が得られるか。
- ・農業クラブの活動に対してクラブ員一人一人が意見を持てるようにするには、どのような農業クラブの活動が必要か。
- ・農業クラブの活動がクラブ員全体で共有されて、一人一人がやりがいを感じられるようにするためにはどうすればよいか。
- ・農業に対するクラブ員の興味・関心を高め、農業クラブの活性化に繋がる活動とはどのようなものか。

福井県連盟

- ・クラブ員1人1人が参加でき、興味をもてる活動にはどのようなものがあるか。
- ・クラブ員の農業に対する興味や関心を高めるために、できることは何か。

愛知県連盟

- ・クラブ員一人ひとりが主体的に活動へ参加し、校内で農業クラブの存在感と力を高めるにはどうすれば良いか。
- ・新入生に農業クラブや農業高校の魅力を伝えるためにできることは何か。
- ・クラブ員が各種競技に意欲的に取り組むためにできることは何か。
- ・農業クラブ活動を通して、自己肯定感を高めることができる方法は何か。また、他のクラブ員にどう伝えていくか。
- ・農業クラブ員が農業クラブ活動に興味を持ち、農業クラブ活動を通して社会性、科学性、指導性を高めていく具体的な方策はどんなことがあるか。
- ・一人ひとりがやりがいを感じられる農業クラブにするためにはどんな取り組みが求められるか。

滋賀県連盟

- ・無理なく活動できる農業クラブ活動とは、どうあるべきか。どのような取り組みができるだろうか。
- ・農業クラブ活動に楽しく参加してもらうまたは、参加するためには、どのような方法があるか。

大阪府連盟

- ・校内のクラブ員の働きかけに、農業クラブ役員ができることは何か。

兵庫県連盟

- ・クラブ員一人ひとりが主体的に活動するために必要なこと
- ・農業クラブの活動価値をどう実感してもらうか
- ・新入生へ農業クラブの魅力を伝える最良のアプローチは何か
- ・大会やプロジェクト活動への参加意欲を高める方法とはなにか

- ・農業クラブ活動の魅力を高めるリーダー育成の方法
- ・一人ひとりが主役になる農業クラブ活動の仕組みづくり
- ・全員が意見を出し、意欲を高めるようにするにはどのような取り組みがあるか

鳥取県連盟

- ・クラブ員一人一人が積極的に参加できる農業クラブ活動はどのようなものがよいか。
- ・農業が他産業とコラボレーションし発展を目指す際、必要な知識は何か。

広島県連盟

- ・活動したいと感じる農業クラブを実現するためにどのような取組が必要か。
- ・校内大会の充実させるためにはどうしたらよいか。
- ・生徒一人一人に農業クラブ員としての自覚をもたせ、様々な大会や研修等に積極的に参加するようになるにはどうしたらよいか。
- ・農業クラブ員としての自覚を持たせるためには、どのような取組が必要か。
- ・校内大会、県大会、全国大会で入賞をするために、どのような取組または連携が必要か。
- ・農業クラブ活動を生徒が活発に行えるようにするには、どうしたらよいか。

山口県連盟

・地域から農業高校、あるいは農業高校生へ求められていることをどのように知るか。また、それにどう応えていくべきか。

徳島県連盟

- ・「やってみたい！」を引き出す農業クラブ活動を目指すため、興味・関心を高める仕掛けをどのように構築するか。
- ・学科・学年を超えてつながる農業クラブ活動を目指すため、交流を深める仕組みを考える。
- ・校内すべてのクラブ員が農業クラブ活動について知り、積極的に様々な活動を展開するためには、どのような目標をもって取組をするべきか。
- ・農業クラブに所属しているという意識作りを持たせるにはどのようにすればよいか。
- ・収穫祭を盛り上げるためにどうすればよいか。

福岡県連盟

・農業クラブに対して関心がないクラブ員がいるが、どのようにすれば農業クラブに興味を持ってもらえるか。

佐賀県連盟

- ・農業クラブに興味を持ってもらい、様々な分野に目を向けてもらうためにはどうしていくべきか。

長崎県連盟

- ・農業クラブ活動を学校全体に定着させるにはどのような課題があるか。
- ・クラブ員一人一人の意識を高める行事やイベントにはどのようなものをおこなうとよいか。
- ・他の単位クラブと交流を深めるにはどのような取組をおこなうとよいか。

熊本県連盟

- ・学校農業クラブ員がクラブ活動に興味を持ち、クラブ活動の活性化のためにクラブ員一人一人に何ができるか。
- ・クラブ員一人一人がやりがいを感じ、主体的に活動に参加するためには、どのような工夫が必要か。
- ・自校HPやインスタ等に掲載する際により目立つ（映える）デザインの検討
- ・農業クラブ員として自覚を持つために、学校が盛り上がるための仕組みやしかけはあるか？

宮崎県連盟

- 農業クラブ委員全員が農業クラブ活動に積極的・意欲的に参加するためにはどんな働きかけをしなければいけないのか。（ 数人だけが頑張っているように感じる。 ）
- 意見発表やプロジェクト発表以外で、農業クラブ員全員で取り組む校内行事にはどのような取り組みがあるか。

鹿児島県連盟

- クラブ員 1 人 1 人の意識が低い
- クラブ員全体での取組が少ない
- 農業クラブ活動を身近に感じるためにできることはないか。
- 農業の楽しさを理解して学ぶ姿勢を持たせるには、どのような方法があるか。
- 生徒同士で学びあうにはどのようにすればよいか。
- 稼げる農業をアピールすると農業に魅力を感じるのではないか。そのためにどうすればよいか。

沖縄県連盟

- 校内で、「農業クラブの活動とは何か」を理解し、更に活性化させ、農業クラブ員に広めるにはどうすればよいか。
- 学科間の連携を深めるためにはどのようにしたらよいか。
- 農業クラブ活動の魅力を高め、新入生が自然と参加したくなる環境づくりはどうすればよいか。

<第3分科会>：農業の未来や農業をとりまく情勢と農業クラブ活動との関わりに関すること

北海道連盟

- ・農業を取り巻く課題解決に向けて、農業クラブ活動はどのように貢献できるか。

東北道連盟

- ・持続可能な農業や農村社会を構築していくために、私たちにできる活動はどのようなものがあるか
- ・農業従事者の減少や高齢化の現状を受けて、持続可能な日本の農業を続けていくには何かが必要か
- ・農業の良さや重要性を前面に押し出し、イメージアップを図るために、全国や海外との協力や交流の中でどのようなことができるだろうか

南北海道連盟

- ・農業の魅力を担い手となる若者たちに伝えるために、どのような活動をしていくべきか。

岩手県連盟

- ・「農薬の使用が増加する中で、農業高校などにおいて有機栽培を推進するためには、どのような取り組みを行うべきか。」

秋田県連盟

- ・高齢化が進む農業に若い世代がどのように関わっていくべきか。
- ・増え続ける耕作放棄地をどのように活用していくべきか。
- ・今ある農業を私たちがどう受け継ぐことができるのか。
- ・増え続けるクマ被害から農作物を守ったり、安全に作業するにはどうすればよいか。
- ・人とクマが共存できる社会にするにはどうしたらよいか。
- ・食料自給率が低下しているが、これをさらに向上させるにはどうしたらよいか。(昆虫飼料や昆虫食の観点から。)
- ・スマート農業・新技術の導入や活用について、農業クラブとしてどのように関わっていくか。
- ・今後必要とされる「農業+α」のスキル(IT、経営力など)を農業クラブをとおしてどう育てられるか。

山形県連盟

- ・みどり食料システム戦略で示されているような、持続可能な農業実現のために、農業クラブ活動を通してクラブ員にできることは何か。

福島県連盟

- ・地球規模の課題と地域課題を解決するために、農業クラブが担うべき『持続可能な活動』の実行プランをどう設計するか。

茨城県連盟

- ・フードロス減らし、無駄を減らすためにはどのようなことを企画、実施するか。
- ・化学肥料や農薬を減らし、持続可能な農業を実践するためにはどのような取り組みができるか。
- ・気候変動や高齢化など、農業を取り巻く問題について学ぶために、自分たちができることを考える
- ・新しい技術を導入した次世代の農業を目指すためには、どのような方法を実践するべきか。
- ・農家と農業高校生が連携するために、どのような交流をすればよいか。
- ・最新農業技術を学ぶためには、どのような手段があるか。
- ・持続可能な農業の実現を目指すためには、農業クラブでどのようなことができるか
- ・スマート農業やSDGsに興味を持ってもらい発展させるにはどのような活動をすればよいか
- ・若い世代がAIに強いことを活かして農業従事者と協力をするために、できることは何かを考える。

栃木県連盟

- ・多様な生き方や、人手不足などのさまざまな社会課題がある中で、若い世代が農業に関心を持てるようにするためには、どのような取り組みが必要か。

群馬県連盟

- 人手不足や気候変動、環境問題などの現状をいまえ、農業クラブができる持続可能な取り組みは何か。
- 担い手不足を解消するために現代の農業の魅力をどう伝えていくか。

埼玉県連盟

- 日本の農業を守るために私たちは何ができるか
- 規格外農産物の活用やフードロスの削減方法について

千葉県連盟

- 地域農業の担い手として農業高校ができる活動はなにか
- 若者が農業を「やりたい」と思える社会にするためにはどうすればよいか
- スマート農業の推進とDX化が進む中で、農業高校生が果たすべき役割と地域への貢献はどのようなものがあるか
- 気候変動や環境問題に対応した持続可能な農業の実現に向けたクラブ活動の実践と情報発信について

東京都連盟

- 若者が農業に魅力を感じ、参入しやすくするために、農業の楽しさ・やりがい・収入・労働環境などをどう改善・発信していくべきか。農業クラブはその中でどんな役割を果たせるか。
- 農家の仕事、農薬、環境保全などについて、科学的で正しい知識を広めるために、農業クラブや学校ができる情報発信や学習活動にはどのようなものが考えられるか。
- スマート農業やSDGsなど、現代の農業が抱える課題と可能性を踏まえ、農業クラブ活動をどのように進化させるべきか。

神奈川県連盟

- 小中学生に魅力を広めて、後継者を増やすためにはどのような活動をしていけばよいか

山梨県連盟

- 農業従事者の減少の解決について
- 農業を取り巻く金銭的課題解決のためにできること
- 高校の農業学習におけるスマート農業導入の課題
- 付加価値の高い農産物でも国内で消費できるように私たちができること

静岡県連盟

- 農業クラブ員が一丸となって明日の日本の農業を守るために、各連盟・学校で取り組むことができる活動と、農業高校が主体となって進める農福連携の積極的な実践をするためにはどのように行うべきか。

新潟県連盟

- AI、IoT、ドローンといった先端技術が普及する中で、農業クラブ活動がどう進化すべきか
- 農業後継者不足を防ぐ、または抑止するために農業クラブとしてできることは何か。
- クラブ員の皆さんはどんな日本の農業の未来を描いているか。
- 米の価格高騰について、農業者と消費者の両方の視点からどのようなことを考えるか。

長野県連盟

- 明るい日本の農業をつくる農業クラブ活動とはどのようなものがあるか。
- 若さと元気で農業の未来を拓くには、農業クラブとしてどのような地域と関わる活動ができるか。
- 農業クラブ活動が、日本の農業と自分の将来（夢）の道しるべとなるような取り組みとは。

富山県連盟

- 日本の食料自給率を上げるためにクラブ員にどのような活動ができるのか。

- SDGs を考えた農業にはどのようなものがあるのかを知り、それをどのようにして広めていくか。
- 若い世代が農業について興味を持ってもらうためにクラブ員ができることは何か。
- スマート農業など新しい農業技術を普及させるためにはどのような方法があるか。
- 農業について考える高校生がいることを広く社会に知ってもらい、農業に対するイメージを変えるため、クラブ員がメディアや講演会に出演するにはどんな活動をしたら良いか。
- インターネットを活用した発信で広く農業に興味を持って貰うためにはどのような工夫が必要か。
- 農業の勉強や農業をやりたいと感じさせるにはどのような出前授業をしたらよいか。
- 資材の価格高騰が懸念されるなか、この課題に農業クラブ員としてどのように関わっていけるか。
- みどりの食料システムに準じた農業クラブ活動にはどのようなものがあるか。
- インバウンドが拡大する昨今、我が国の強みを最大限に発揮するための取り組みとしてどのようなものが挙げられるか。
- 資材の価格高騰が懸念されるなか、この課題に農業クラブ員としてどのように関わっていけるか。
- スマート農業を積極的に活用するために農業クラブとしてどのようなことができるのか。
- 農業の魅力を地域の小・中学生が感じられ、地域の農業の活性化に繋がるような取り組みとはどのようなものか。

福井県連盟

- 農業従事者を増加させるためには、農業クラブ員としてどうしたら良いか。

愛知県連盟

- 高齢化や担い手不足が進む農業の現状を知ってもらい、スマート農業（ICT・IoT・AI）の導入や農業の知識を「受け継ぐ」ために、農業クラブとして何が出来るか。
- 気候変動に対応した農業を実践するためにはどうすればよいか。
- 物価高や資材価格の高騰が続く中で、持続可能な農業を実現するためにできる工夫は何か。
- 気候変動による農業への影響に対してクラブ活動でできる取り組みは何か。
- 耕作放棄地となった農地の活用のために、農業クラブ活動ができる取り組みは何か。
- 地域の治水や環境システム維持といった多面的な役割をもっている農地を守っていくためにできる取り組みは何か。

岐阜県連盟

- 持続可能な農業を実現していくためには、農業高校生として何をしていく必要があるのか？

滋賀県連盟

- 農業従事者が減少する中で増加していく耕作放棄地の活用方法はどのようなものがあるか。
- 農業に対する3Kのイメージはあるか。また、クラブ員の3Kイメージを覆すためにはどうしたら良いか。

大阪府連盟

- 農業就業者の減少や高齢化対策として、農業クラブに何が出来るか。
- 今後のクラブ員の減少を踏まえ、全国大会をはじめ各種行事はどのようなスタイルが適切か。

兵庫県連盟

- 農業高校生が考える地域農業の課題と可能性
- 未来の農業と農業クラブ活動の役割
- 「AI×高齢者」未来を見据えた時農業クラブ生の働きかけ
- 農業高校の定員減少や生徒数減少による農業クラブ活動への影響、また、この課題に対して農業クラブ員にできることは何か。
- 農業の真の魅力とは何か。農業後継者を増やすために。
- 未来の農業とはどんな農業だろうか。

鳥取県連盟

- ・持続可能な農業をするために、高校生ができることはどのようなことか。
- ・農業を発展させるためにどのような他産業との結びつきが必要か。

広島県連盟

- ・過疎化・少子高齢化が進む地域において、農業クラブができることは何か。
- ・地域の特産品などの生産について、農業クラブ員としてできることは何か。
- ・農村部における農業について、農業クラブ員としてできることは何か。
- ・高齢化や担い手不足の問題にどのようにして取組むか。
- ・この先農業が持続発展していくためには何をしないといけないのか。
- ・農業が抱える課題や問題について、農業クラブ員としてできることは何か。

山口県連盟

- ・日本の農業を守っていくためには、農業高校としてどのようなことを学んでいく必要があるか。
- ・スマート農業や農業経済の知識を用いて、若い世代に興味をもってもらうことは何か。

徳島県連盟

- ・気候変動、人口減少時代の中で、日本の農業を発展させるために、農業クラブはどう向き合うか。
- ・環境保全と農業の共存に向けて、農業クラブ員ができる取り組みを考える。
- ・スマート農業の導入についてのメリットとデメリットについて考える。
- ・多くの若者が農業分野で活躍したいと考えるためには、どのような活動をしていくべきか。
- ・農業高校の生徒として考える「農業の魅力」とは何か。また、それを小中学生に伝えるためにどのような活動をしていくべきか。

福岡県連盟

- ・現在の農業の課題に対して、解決に向けての話し合いがないため、どのような機会を作りどう行動していけばよいか。

佐賀県連盟

- ・若者の農業離れが進む中、地域を超えてSNSを活用し、農業の魅力をどのように発信すればよいか。

長崎県連盟

- ・食の生産の大切さを次世代に繋げていくにはどのような取り組みが必要か。
- ・食の安定供給を、農業へ関心がない人に伝えるにはどのような方法があるか。
- ・非農業家の若者が職業選択の一つに「農業」を入れるにはどのようなことが課題か。

熊本県連盟

- ・現在、若者が多く使用しているSNSをどのように有効活用すれば農業に魅力を持ってもらえるか。
- ・子供たち（園児・小中学生）に農業の魅力を伝え、将来の農業従事者・農業後継者を育てていくために、農業高校生が取り組むべきことは何か。
- ・自然災害が多発する現代社会で防災や復興支援のために、全国の農業クラブ役員が地域を超えて連携できる方法はないか

宮崎県連盟

- ・若い世代がもっと農業に関心を持つにはどのような働きかけをしなければいけないのか。
- ・農業の課題解決にクラブ活動が十分に結びつけるにはどのような取り組みがあるか。
- ・担い手不足が深刻化している中、農業クラブとしてこの問題にどう取り組むべきか。

鹿児島県連盟

- ・少子高齢化
- ・食料自給率の低さ

- IT化
- 地域農産物のブランド化に学校がどのように関わればよいか。
- 農業を身近に感じる事が大切だと考えた。農業の良さを伝える農業を体験するためにはどのようなイベントを計画すればよいか
- 農業高校に入学したことで農業について考えるようになった。入学者数を増やす方法はないか。

沖縄県連盟

- みどりの食料システム法が施行されながらも、農業従事者の高齢化が進行する課題がある。各地域でどのような農業負担の低減事業活動があるのか。また、それを農家だけでなく高齢者や消費者に理解してもらうにはどのように発信し、どのような生産販売方法があるのだろうか。
- 自然災害が農業に及ぼす被害に対して、私たちがどのように関わる事ができるか。
- フードロス削減や循環型農業といった社会課題に、クラブ活動として貢献できる取り組みは何か。

完成〆切

4月8日（水）委員長まで提出

このデータと使うデータ

Alrit 内⇒外部共有⇒農業クラブ⇒令和8年度⇒中央指導委員会⇒10.第8号議案

県連から提出されたデータ

Alrit 内⇒外部共有⇒農業クラブ⇒令和7年度⇒13.R7年度クラ代テーマ（びわこ近畿大会）